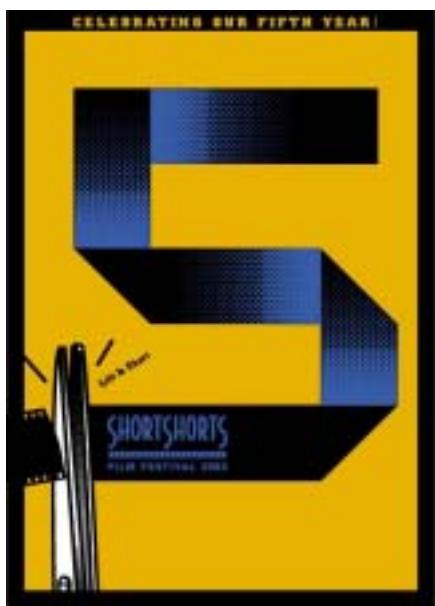


Short Shorts Film Festival 2003 in Matsumoto

6/21 Sat. ~ 22 Sun.

「ショートショート フィルムフェスティバル 2003 in 松本」開催のお知らせ



本年度映画祭のメインビジュアルは、5回目の開催(松本開催は3年目)を記念して数字の『5』を全面にだした明確なデザインに決定いたしました。数字の『5』はフィルムの帯を模したリボンで表現。色調は青とカラシ黄色を使い、ハイコントラストに数字を強調しています。過去4年間の顔をモチーフにしたメインビジュアルから一点、区切りの年、そして新たなスタートを迎える意気込みをビジュアルに託しました。

松本に本格的な短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」が今年も開催されます。

SSFFは、俳優別所哲也氏の呼びかけで1999年からスタートした、日本初のショートフィルム(短編映画)専門の映画祭です。ツアーフォーマットで国内の6都市を回り、松本での開催は2001年から数えて3回目になります。

短い物では60秒程度、長い物でも30分に満たない短い映画ですが、それぞれの作品には明日の映画界を担う映像作家たちの才能が凝縮されています。劇場用長編映画が長編小説だとしたら、ショートフィルムはポエムといったところでしょうか。いろいろな様式のポエムがあるように、ショートフィルムの内容も、サスペンスあり、コメディあり、ドキュメンタリーありと実に多彩です。製作している地域も、日本をはじめとする様々な国の人々の作品を集め、より国際色豊かになっております。

今年のSSFFは、上土のピカデリーホールを会場として6月21日~22日の2日間開催されます。(20日はレセプションパーティー)

いうまでもなくSSFFは、「ひとりでも多くの人にショートフィルムの魅力に触れてほしい」ということをめざしていますが、そもそもは松本の若手商業者たちの「松本に人を集めることで楽しい文化的なイベントをやりたい」という思いに端を発しています。幸いにも多くの方々の共感が得られ、前回、前々回とも成功裏に終えることができました。その過程で培ったノウハウやネットワークは私たちのかけがえのない財産です。3年目の今年は、それらを大切にしながら、さらに発展させ、SSFFを文化都市松本の代表するイベントとして大きく育てていきたいと思います。

・実施概要

名 称 ショートショート フィルムフェスティバル 2003 in 松本

実 施 日 2003年6月21日(土)~6月22日(日)

20日(金)にレセプションパーティーを実施

レセプションパーティーは招待者のみで、一般のお客様は入場できません。

実 施 会 場 ピカデリーホール(松本市中央4-7-2)

主 催 ショートショート実行委員会、松本ショートショート実行委員会

後 援 文化庁、外務省、経済産業省、米国大使館

松本市、松本市教育委員会、松本商工会議所、松本コンベンションセンター、松本商店街連盟、信濃毎日新聞社

助 成 国際交流基金、文化庁

協 力 財 団 法人 日米映画文化協会

・上映作品

複数のショートフィルムで構成される約 110 分のプログラムを上映する。

		6/21(土)	6/22(日)
1	10:00 ~ 11:50	a	c
2	12:20 ~ 14:10	b	a
3	14:40 ~ 16:30		d
4	17:00 ~ 18:50	c	b
5	19:20 ~ 21:10	a	c
6	21:40 ~ 23:30	b	-

プログラム a ではアカデミー賞 R ショートフィルムカテゴリーの受賞作品を集めました。

* このプログラムはアカデミー賞のスポンサーによるものではありません。

* This program is independent from the Academy Awards(R).

プログラム b とプログラム c では「マエストロ・ショートショート (MAESTRO SHORT SHORTS)」と題し、著名な監督のショートフィルムを公開。特にプログラム b で公開される本年度アカデミー賞でオスカーを受賞した「戦場のピアニスト」のロマン・ポランスキー監督のショートフィルムは必見！

さらに究極の 1 分凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニング」もそれぞれ 1 作品上映されます。

プログラム d では、日本人監督や日本を題材とするなど、日本に関わるショートフィルムを集めました。

はシネマ・トーク・セッション「マツモトマニアサイド」と題し、松本と映画について出演者 2 人が深く語り合います。

出演：山崎貴監督（代表作「リターナー」）

水島努監督（代表作「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ栄光のヤキニクロード」）

入場無料

東京で公開される 9 プログラムから厳選し 4 プログラムを公開します。

松本プログラムと東京プログラムとの関係は以下の通りです。

松本	東京
Program a	ACADEMY Short Shorts
Program b	Program d
Program c	Program e
Program d	Japan Short Shorts

・チケット販売（5月21日より販売開始予定）

1 プログラム 前売 1,000 円 / 当日 1,300 円

ただし、当日券のみ異なるプログラムを複数買う場合は 1 枚に付き 100 円値引きします。

4 プログラム通し券

1 回目のプログラムから連続して 4 プログラムを観ることができます。（座席も確保できます）

期日限定で、両日とも 40 枚のみ限定発売します。

21 日券（プログラム a,b,Talk Live,c） 2,700 円

22 日券（プログラム c,a,d,b） 3,600 円

トークライブが無料のため、21 日券は 1 プログラム分お安くなっています。

取り扱いは ローソンチケット、チケットぴあ（4 プロ通し券はローソンチケットのみ取り扱い）

・サブイベント

1) シネマセッション SSFF in Matsumoto

松本にゆかりの深い映画関係者を招いて、誌上対談やトークセッションを開催する。

2) Re:松本

「Re」ではじまる単語をキーワードに、再開発後の松本をクローズアップする。

3) SSFF MIX RALLY

好評だった SSFF メニュー スタンプラリーを、対象店舗の業種を広げて行う。

松本市内の 100 の参加店をカテゴリー S (物販または映画館) カテゴリー F (飲食関係店またはその他の業種) に分け、その 2 つのレシートの合計 2,003 円分と、Start Stamp として M ウィングに、そして Finish Stamp としてピカデリーホールに特製スタンプを設置 (ピカデリーホールには 21 日と 22 日の 2 日間のみ) それぞれを集めるとガラポンクジが挑戦でき、豪華景品 (56 種類 877 品) があたります！空クジはなしで、何度でもチャレンジできます。

S(Start stamp) S(Shop or Screen) F(Foods or Free) F(Finish stamp)

4) 地元学生有志による SSFF 研究会の設立

5) 各商店街・団体との連動イベント

6) シネマミュージック ストリートライブ

各サブイベントの詳細については随時リリースにてご連絡いたします。また、ホームページのほうでも公開していくので、そちらの方もご覧下さい。

・ファンクラブ「Program M」の設立

メールマガジン登録者の中から入会を募る（有料）

レセプションパーティーへの招待など、各種特典を用意する。

詳細は www.mcci.or.jp/www/get/ssffm/pmadd.htm

・その他

17 日（土）よりボランティアの活動が始まります。

午前 10 時 神明町公民館 松本市内各店舗へポスター配り等

映画祭を運営するにあたり、ボランティア（登録約 70 名）が欠かせません。彼らの意欲ある活動をクローズアップしていただけると幸いです。

開催都市 東京、札幌、大阪、松本、名古屋、福岡（開催順）

ウェブサイト official

www.shortshorts.org

Matsumoto

PC www.mcci.or.jp/www/get/ssffm/

Mobile www.mcci.or.jp/www/get/ssffm/i/

問合せ先

松本ショートショート実行委員会 事務局

〒390-8503

松本市中央 1-23-1 松本商工会議所商業グループ内

電話 0263-32-5355（代） Fax 0263-33-1020

E-mail : get@po.mcci.or.jp